

平成30年4月

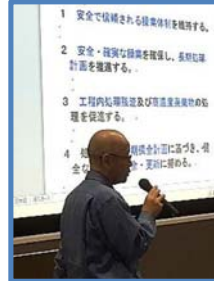
発行人：中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京 PCB 処理事業所



# 東京PCB廃棄物処理事業だより (No.53)

## 平成30年度事業所方針

4月2日、年度初めにあって、JESCO 東京 PCB 処理事業所・田中所長から JESCO 社員と運転委託会社の東京環境オペレーション(株)社員に平成30年度事業所方針について訓示を行いました(内容は以下の通り)。長期処理計画および長期保全計画に基づいて、安全で安定した操業と保全を確実に実行し、PCB 廃棄物の早期処理完遂をめざして取り組んで行くことを全員で確認し、実現することを誓いました。



事業方針所長訓示

### 平成30年度 JESCO 東京 PCB 処理事業所方針

1. 安全で信頼される操業体制を維持する。
2. 安全・確実な操業を確保し、長期処理計画を推進する。
3. 工程内処理残渣及び高濃度廃棄物の処理を促進する。
4. 処理施設の長期保全計画に基づき、健全なる設備の保全・更新に努める。

## ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京 PCB 処理事業部会を開催しました

3月7日、JESCO 本社にて平成29年度第3回東京 PCB 処理事業部会(主査：永田勝也早稲田大学名誉教授)を開催しました。

部会では、議題1として、平成29年度下期の操業状況を報告しました。

議題2として、平成30年度長期処理計画として1都3県の今後の処理予定について報告しました。

議題3として、長期保全計画(平成30年度改訂版)として設備の補修に関する長期計画について報告しました。

議題4として、平成29年度設備保全項目と平成30年度設備保全予定項目として、今年度の補修実績と来年度の補修計画を報告しました。

議題5として、リン含有 PCB 油前処理実証設備による実証試験の状況について説明しました。

議題6として、平成29年度内部技術評価結果と所見への対応として、昨年9月に実施された社内技術監査について報告しました。

最後に議題7として、平成30年度東京 PCB 処理事業部会の開催時期・議題について報告しました。今後も各委員からご指導をいただき、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。



東京 PCB 処理事業部会

## 東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成30年1月～3月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	1月～3月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	53台	3,703台
コンデンサ類	2,030台	55,653台

\* 連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

\* 低濃度 PCB 廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

## 東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会を開催しました

3月27日、ホテルイースト21にて第39回東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会（委員長：中杉修身 国立環境研究所環境リスク・健康研究センター）を開催しました。



環境安全委員会

委員会では、議題1として、平成29年度下期の操業状況について報告しました。

議題2として、平成29年度設備保全実施項目と長期保全計画に基づく平成30年度設備保全予定項目について報告しました。

議題3として、リン含有PCB油前処理設備による実証試験の状況について報告しました。

会議では、今回はトラブルの発生もなく順調な処理を推進したことに対して評価いただくとともに、事業終了に向けた処理の推進に対してご意見・ご助言をいただきました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引き続き安全・確実な処理を行なってまいります。

※環境安全委員会は公開にて開催しており、当日配布資料は当社ホームページでご覧いただけます。

[http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/environment/pla\\_39.html](http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/environment/pla_39.html)

## 首都圏広域協議会が開催されました

3月12日、東京PCB処理事業所にて第22回首都圏広域協議会が開催されました。

広域協議会は、1都3県5政令指定都市および6中核市で構成され、東京PCB廃棄物処理事業に係る広域調整に関して、安全の確保及び連絡調整を図ることを目的として開催されています。

会議では、最初に会長である東京都から、計画的処理完了期限の平成34年度末まであと約5年であり、各自治体では、処理対象物の掘り起し、立入指導、保管・適正処理等の指導を進めているところですが、自治体間で情報交換をしながら、期限内処理を目指して着実に前に進んでいきたい、とのご挨拶がありました。

環境省からは、PCB廃棄物の早期処理に係る国の取組、掘り起し調査の効率化・加速化支援業務および実施状況、平成29年度PCB使用安定器掘り起しモデル調査等の説明がありました。

当社からは①平成29年度の処理実績②平成30年度受け入れ予定量③処理の進捗状況④1都3県に係る重点搬入計画⑤安定器等・汚染物の処理量等を報告しました。

出席自治体からは、北九州地域で対応が見込まれる行政代執行についての質問がある等、PCBの早期処理推進に向けて有意義な意見交換がなされました。

## 平成29年度施設見学状況

平成29年度は、保管事業者、官公庁及びスーパーエコタウン見学会の参加者等、78団体816名の方々に施設見学にお越しいただきました。

	4-6月	7-9月	10-12月	1月-3月	年度計
団体数	18団体	23団体	19団体	18団体	78団体
見学者数	135名	251名	248名	182名	816名

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所

〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側理立地内）

TEL03-3599-6023

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>



## 東京PCB廃棄物処理事業だより (No.54)

### 平成30年度東京PCB廃棄物処理施設の定期点検を実施しました

平成30年度の東京PCB廃棄物処理施設の定期点検を5月14日から6月17日の間に実施しました。期間中はすべての設備を停止して様々な検査・点検を行うと共に、施設の安全と安定操業を維持するための改善工事を行いました。

#### ◆ 定期点検の安全大会開催

定期点検を無事故・無災害で行うことを目指し、定期点検作業開始となる5月14日に安全大会を開催しました。

JESCO 社員及び運転会社社員、点検・整備にあたる工事請負会社などの関係者が集まり、JESCO 所長による安全訓示、工事請負責任者による安全宣言などで、注意喚起と安全意識の高揚を図りました。



JESCO 所長安全訓示



定期点検安全大会

### 平成30年度全国安全週間の取り組み

#### ① 安全大会の開催

全国安全週間（7月1日～7日）を迎えて、7月2日に JESCO 社員及び運転会社社員による平成30年度安全大会を開催しました。

開催に当たって、JESCO 所長により次のように社長メッセージが紹介されました。

○ PCB 廃棄物処理事業において、昨年度は2件の休業災害が発生し、前年度からの休業災害ゼロ件を継続することができず、平成30年度も5月までに4件の労働災害が発生していること。

○ 安全教育、ヒヤリハット・キガカリ、リスクアセスメントなどの安全活動を推進しているが、マンネリ防止や意識啓発を促し、ゼロ災達成に努めること。

○ トラブルが発生した場合は、速やかに情報伝達を行えるよう、普段から連絡体制の整備や教育・訓練の実施などを行うこと。

以上の訓示後、大会の最後に全員で安全コールを唱和して安全意識の高揚を図りました。



安全大会

#### ② 安全点検の実施

全国安全週間中の活動として以下の点検を行いました。

- ・7月1日（日）：家庭安全の日（家庭内の安全確認：自主活動）
- ・7月2日（月）：安全大会の日（所内安全大会）
- ・7月3日（火）：保護具安全の日（保護具の点検清掃：自主活動）
- ・7月4日（水）：設備安全の日（設備不備の点検：自主活動）
- ・7月5日（木）：職場環境整備の日（事務所、控室、倉庫4S:自主活動）
- ・7月6日（金）：職場環境整備の日（現場担当エリアの4S:自主活動）
- ・7月7日（土）：家庭安全の日（家庭内の安全確認：自主活動）

### 東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成30年4月～6月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	4月～6月 処理完了台数	操業開始からの 処理完了台数の累計
トランス類	10台	3,467台
コンデンサ類	1,479台	56,879台

\* 連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

\* 低濃度 PCB 廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

## ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京 PCB 処理事業部会を開催しました

7月13日、JESCO 本社にて平成30年度第1回東京 PCB 処理事業部会(主査:永田勝也早稲田大学名誉教授)を開催しました。

部会の概要は以下のとおりでした。

議題1として、平成29年度の処理実績を報告しました。昨年度は1年を通して概ね計画通りに処理を実施し、処理重量で計画を達成できたことを確認いただきました。



東京PCB処理事業部会

議題2として、長期保全計画に基づく平成29年度の実施項目を予定通りに実施したことを報告しました。

議題3として、平成29年度6月までの操業状況と設備保全の実施状況を報告しました。

議題4として、水熱分解設備の反応器底部及び底部隔壁の点検結果と今後の対応について報告しました。

議題5として、リン含有 PCB 油前処理設備の設置に伴う外部洗浄室等の設備解体完了について報告しました。

議題6として、リン含有 PCB 油前処理実証設備による実証試験結果及び実機設備の設置に向けての検討状況を報告しました。

議題7として、今年度の事業部会の開催時期と議題の予定について説明しました。

今後も各委員からご指導を頂き、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

## 産業医による熱中症講話を開催しました

6月21日、JESCO 社員および運転会社社員を対象に産業医(テレコムセンタービルクリニック 大矢院長)による熱中症講話を開催しました。



大矢産業医

熱中症は、高温多湿な環境に身体が適応できないことで生じる様々な症状の総称であり、軽度のものから重度のものまで、段階的に変化する症状をわかりやすく説明いただきました。

また、熱中症による死亡者の3割が夜間に発症していること、熱中症対策として一般的に知られている水分補給については、ウォーキング1時間当たりの発汗量から導かれる必要摂取量が気温31℃を超える環境になると500mlペットボトル1本では足りないこと、摂取する飲料は、スポーツドリンク等の適度に塩分を含む飲料を摂取することが必要であり、水だけを飲む事はとても危険であることなどが紹介され、改めて熱中症対策の大切さを認識させられる講話でした。



聴講者

## 第1四半期(4月 - 6月)施設見学状況

平成30年4月から6月までの間、保管事業者、官公庁及びスーパーエコタウン見学会の参加者等、12団体76名の方々に施設見学にお越しいただきました。

	4月	5月	6月	計
団体数	5団体	2団体	5団体	12団体
見学者数	10名	53名	13名	76名



※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所  
〒135-0064 江東区青海三丁目地先(中央防波堤内側埋立地内)  
TEL03-3599-6023  
<http://www.iesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>



## 東京PCB廃棄物処理事業だより (No.55)

### 東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成30年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	7月～9月 処理完了台数	操業開始からの 処理完了台数の累計
トランス類	47台	3,522台
コンデンサ類	1,704台	58,634台

\* 連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

\* 低濃度 PCB 廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

### 東京スーパーエコタウン協議会事業

#### 「ビーチクリーンアップ in 城南島2018」に参加しました

10月20日、当事業所が加入する東京スーパーエコタウン協議会<sup>(※)</sup>事業の一環として、城南島海浜公園の清掃活動に参加しました。この活動は、城南島海浜公園ビーチクリーンアップ実行委員会が主催する活動で、大田区城南地区の企業、東京スーパーエコタウン協議会の企業が参加して毎年行われております。当日は天候にも恵まれて家族連れも含め多数の参加者により、砂浜に打ち上げられた木・缶・ペットボトルなどが回収され、活動後はきれいな砂浜に甦りました。

当事業所は東京スーパーエコタウン協議会の一員として、今後も引き続き各種地域活動に積極的に取り組んで参ります。



ビーチクリーンアップ活動

(※) 東京スーパーエコタウン協議会 = スーパーエコタウン内の12事業者が相互に協力連携し、事業効率の向上を図ることを目的に設置 (東京ｽｰﾊﾟｰ-ｲｺﾀｳﾝ HP: <http://www.ecotown-tokyo.jp/>)

#### ◎スーパーエコタウン事業とは (※東京スーパーエコタウンHPから抜粋)

東京都は、首都圏の廃棄物問題の解決と環境産業の立地を促進し、循環型社会への変革を推進することを目的に、国の都市再生プロジェクトの一環として、東京臨海部において、都有地を活用した廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進めてきました。これまでに、中央防波堤内側地区には、PCB廃棄物処理施設及びガス化溶融等発電施設が稼働し、また城南島地区には、建設混合廃棄物リサイクル施設、廃情報機器類等リサイクル施設、食品廃棄物リサイクル施設及びがれき類・泥土リサイクル施設が稼働しました。都は、都内処理率の向上と最終処分量の削減を推進し、廃棄物問題の解決を促進するため、先進的で信頼性の高い廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進めます。

### 救命講習会を開催しました

10月4日、臨港消防署救急係の方を講師にお招きして、JESCO社員および運転会社社員の計14名を対象に救命講習会を開催しました。

講習会では、胸骨圧迫をはじめ人工呼吸およびAED(自動体外式除細動器)による心肺蘇生法について、人形を用いた実地訓練を行い、また、気道異物除去法や応急手当についての講義を聴講しました。



人工呼吸心肺蘇生法



AED心肺蘇生法

緊急事態に遭遇した場合を想定した訓練を通じて、救急・救命の重要性を再認識するとともに、的確な応急対応の知識と技術を習得する有意義な講習会となりました。

## 自衛消防活動審査会に参加しました

9月14日、東京消防庁臨港消防署において、平成30年度自衛消防活動審査会が開催されました。

審査会には当事業所の代表として、運転会社の東京環境オペレーション(株)社員2名が参加して、屋内消火栓操法を実演しました。

本審査会への参加は今年で4回目となりますが、参加した代表2名の確かつ機敏な操法動作は、審査員から高い評価を得て、見事初優勝を果たしました。

今回の結果を励みに、有事の際に迅速な消防活動が行えるよう取り組んで参ります。



屋内消火栓操法の実演



優勝チーム(左から)岩田さん、佐々木さん

## ゴーヤ栽培で遮光遮熱対策を実施しました

夏場の省エネ対策の一環として、1階事務室南東面の窓に、遮光遮熱を目的にゴーヤを栽培しました。

今年は記録的な猛暑となりましたが、ゴーヤの成長は著しく、窓を覆い尽くす“緑のカーテン”は夏の強い日差しを遮ると共に、例年を上回る数の実を付けて、省エネ効果を上げる一助となりました。

育ったゴーヤは希望する社員に分配して食され、社員の夏バテ防止にも役立ちました。



成長したゴーヤ

## 環境報告書 2018 を発行しました

平成29年度の当社の事業活動に係わる環境配慮の取り組みをまとめた『環境報告書 2018』を9月に発行しました。

この報告書は、当社の環境と安全に対する取り組みを積極的にお知らせするために毎年発行しているものです。

また、環境保全に関する取り組みやPCB廃棄物の処理実績に加えて、トピックスとして2017年6月に策定した中長期経営計画の達成に向けた当社の取り組み目標を掲載するとともに、労働安全衛生、保安防災、従業員教育、地域とのコミュニケーション、PCB廃棄物処理事業検討委員会等についても記載しています。

発行に当たっては、開示情報の信頼性確保のため、第三者審査を実施しています。

※『環境報告書 2018』は、当社のHPにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。

(<http://www.jesconet.co.jp/company/pdf/envirorep2018.pdf>)



環境報告書 2018

## 第2四半期(7月 - 9月) 施設見学状況

平成30年7月から9月までの間、保管事業者、官公庁及びスーパーエコタウン見学会の参加者等、8団体127名の方々に施設見学にお越しいただきました。

	7月	8月	9月	計
団体数	1団体	4団体	3団体	8団体
見学者数	17名	86名	24名	127名

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所  
〒135-0064 江東区青海三丁目地先(中央防波堤内側埋立地内)  
TEL03-3599-6023  
<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>